

日光野口病院 令和5年度 看護部現任教育プログラム

		接遇をみにつける		クリニカルラダー											
レベル	目標	行動目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理能力 レベル4 師長	病院・看護部の理念 病院の目的に沿った 管理ができる。 部署の問題を明確に してメンバーと協力して 解決していく。	プロ意識を持ち柔軟で度量の大きい対応ができる	集合 (学研)			医療機関のサイバー セキュリティ対策 CJ2304	高齢者虐待に おける病院の役割 CJ2305	医療現場の ハラスメント対策 CJ2354	病院の災害 シミュレーション CH2351	認知症患者の 倫理的課題 BD2354	安全・安楽の 食事介助技術 BD2306		看護研究・どうして 研究するのか？ BBS2302	タスクシフト・シェアと 他職種協働 FA2353	
		看護研究の推進や支援ができる	個別 (学研)			心理的安全性と ヘルシーワークプレイス AC2302		チームで成果 目標管理 AC2351		中間評価に活かす 目標管理 AC2305		管理者のスタッフ メンタルケア AC2353		配慮が必要な スタッフの支援 AC2355	
		患者家族の看護問題を解決できる	院外			医療安全			看護管理研修						
レベル3 中堅レベル 5年以上	役割モデルになり専門 性を発揮できる。 受け持ちナース・固定 チームリーダーとしての 役割モデルが果たせる	あらゆる場面でリーダーシップ・メンバーシップが柔軟にとれる	集合 (学研)			医療機関のサイバー セキュリティ対策	高齢者虐待の 病院の役割	医療現場の ハラスメント対策	病院の災害 シミュレーション	認知症患者の 倫理的課題	安全・安楽の 食事介助技術	医療ガス安全管理 と事故防止策	看護研究・どうして 研究するのか？	タスクシフト・シェアと 他職種協働	
		看護実践において他のスタッフのモデルになれる	個別 (学研)			メンバーシップと フォローシップ ALA2352		看護補助者と 看護師の協働 AC2303		医療職の メンタルヘルス対策 CK2302		今日からリーダー マネジメント術 AC2301		もう一度振り返る チーム医療の基本 FA2351	
		看護研究(小集団等)を主体的にまとめ研究会・学会発表できる	院外			感染管理	退院支援	医療安全	慢性疾患意思決定	排泄ケア		ターミナルケア			
レベル2 1人前レベル 3～5年目	受け持ち看護師として 看護実践でき、日々の リーダーとしての役割が 発揮できる	守秘義務を果たしてプライバシーへの配慮ができる	集合 (学研)	集合研修 (4/3・4)		医療機関のサイバー セキュリティ対策	高齢者虐待の 病院の役割	医療現場の ハラスメント対策	病院の災害 シミュレーション	認知症患者の 倫理的課題	安全・安楽の 食事介助技術	医療ガス安全管理 と事故防止策	看護研究・どうして 研究するのか？	タスクシフト・シェアと 他職種協働	
		チーム医療の構成員として役割を理解し他の職種と協調できる	個別 (学研)			医療職のチーム ワークのあり方 CK2303		医療職の 社会人基礎力 CK2304		個人情報の適切な 取り扱い方 CK2301		アサーション の基本 ALA2301		プリセプターマインド ALA2351	
		日常の看護が根拠に基づき判断でき、安全・安楽に実践できる	院外				褥瘡管理		慢性疾患意思決定	退院支援					
レベル1 新人レベル 1～2年目	指導を受けながら夜勤 ができる。 チームの患者の把握と ケアの実践。 複数の患者を把握し ケアの実践。 共同業務の理解と実践	職員として自覚を持ち、責任ある行動がとれる	集合 (学研)	集合研修 (4/3・4)		医療機関のサイバー セキュリティ対策	高齢者虐待の 病院の役割	医療現場の ハラスメント対策	病院の災害 シミュレーション	認知症患者の 倫理的課題	安全・安楽の 食事介助技術	医療ガス安全管理 と事故防止策	看護研究・どうして 研究するのか？	タスクシフト・シェアと 他職種協働	
		セクションの特性と業務内容を理解し、各勤務帯の業務ができる	個別 (学研)			協働する力 「コミュニケーション力」 AA2361		バイタルサインから 未来を見通す AA2301		新人看護師の 急変対応 AA2305		タイムラインの つくり方 AA2363-2		みんな一度は 新人ナース AA2313	ケースレポート提出 (1年間受け持ち 1症例のレポート)
		基礎看護技術が指導を受けながら実践できる	院外			新人メンタルヘルス									
レベル1 看護師	状況を全体に把握し 見通しができる。 サブリーダーができる。 介護実践ができる 介護実践において プリセプターの役割。 チームの患者の把握と ケアの実践。 共同業務の理解と実践	介護実践の指導ができる	集合 (学研)	集合研修 (4/3・4)		医療機関のサイバー セキュリティ対策	高齢者虐待の 病院の役割	医療現場の ハラスメント対策	病院の災害 シミュレーション	認知症患者の 倫理的課題	安全・安楽の 食事介助技術	医療ガス安全管理 と事故防止策	看護研究・どうして 研究するのか？	タスクシフト・シェアと 他職種協働	
		受け持ち看護助手として個別性を踏まえた介護が展開できる	個別 (学研)			チームの一員 として業務理解 (ほう・れん・そう) BAA2302		接遇マナー基本 BAA2305		口腔ケア BAA2313		守秘義務・個人 情報保護の基礎 BAA2303		倫理の基本 BAA2306	
		他のチームや関連セクションに応援に行き役割業務ができる	院外					認知症研修							
全体研修	必ず研修を受講 してください。 受講しなかった方は 資料を参照。	医療安全管理研修2回/年	必須研修	移乗/FIM								合同研究発表会 (未定)		固定チーム 1年間のまとめ	
		院内感染管理研修2回/年・小勉強会2回/年		感染管理(ミニ①)	感染管理①	排泄ケア研修	感染管理②	医療安全②	FIM応用編	感染管理③		褥瘡管理②			
		褥瘡予防管理研修2回/年													
		医薬品管理研修数1回/年			医薬品管理 (麻薬)										
		医療機器管理研修1回/年													
		給食(栄養)管理研修2回/年													
		認知症ケア1回～2回/年(看護部)		BLS～ACLS① (リハ)											
		回復期病棟看護必要度研修1回/年(回復期所属)													
		看護システム研修1回/年(看護部)													
		FIM応用編 1回/年(看護部)													
		目標管理1回/年(看護部)													
		排泄ケア研修 1回/年・看護チームの看護補助者業務の理解と業務範囲1回/年													
						医療安全① サイバーセキュリティ (e-ラーニング)				医療安全③ 災害 (e-ラーニング)		給食(栄養)管理		看護補助者の業務 (e-ラーニング) 看護システム (基本・応用)	目標管理

* 院外研修については、別途追加研修があります。

* 回復期病棟所属者は、5月末までに(BC2303)「回復期リハビリテーション病棟編 看護必要度の評価のポイント」を必ず視聴してください。
* 院外研修は栃木県看護協会主催のみ記載しています。